

郷土文化財紹介

重要文化財シリーズ

＜子安観音像＞

高部三十三観音堂には、幼子を抱いてふくよかな顔をした子安観音立像があります。元は苗木遠山家でお乳人を務めた方が大切にしていた持仏です。明治20年高部の四名のご婦人がもらい受け、この地に安置されたそうです。昭和55年中津川市指定重要文化財となりました。



安産の靈験あらたかとされ、お参りの際に子安観音の脇に何体かの人形が置かれてきました。今は高部自治会が管理され、十数名の人達による講が行われています。



↑子安観音立像とその由緒書木簡

本子安様ノ御像ハ元苗木町遠山美濃守ノ御乳人同町セド川永井金六方ニ在置奉ラレシモノヲ明治二十年坂下町山下むら、小栗さと、古井はる、原さんノ四名ニテコレヲ奉載シ來リテ高辺現地ニ安置シ奉リシモノナリ

↑木簡の文面